

夜や

雨う

良りょう

寛かん

世せ上じょうのの榮えい枯こ雲くものの変へん態たい

五ご十じゅう余よ年ねんはは一いち夢むのの中うち

疎そ雨う蕭しょう蕭しょう草そう庵あんのの夜よる

閑しずにかに衾のうい衣い擁ようしてして虚きよ念そう倚よる

【作者】良 寛(一七五七〜一八三一年)(宝暦七年〜天保二年)、江戸時代中期〜後期の僧、歌人、書家。曹洞(そうとう)宗。越後(えちご)新潟(にがた)県

出雲(いずも)崎(さき)の名主(なぬし)の子。備中(びっちゅう)ひつちゆう(岡山(おかやま)県(けん)円通(えんつう)寺(じ)の国仙(こくせん)の法(ほ)をつぐ。のち帰郷(ききょう)して国上(くにのうへ)くがみ(山(やま)の五合(ごがっ)庵(あん)にすみ、托鉢(たくはつ)たくはつ)の合(あ)間に詩歌(しか)や書(か)をたのしんだ。詩集(ししゅう)に「草堂集(そうどうしゅう)」歌集(かしゅう)に弟子(でし)の貞心(てんしん)尼編(にへん)「蓮(れん)はちす」の露(る)がある。天保(てんぽう)てんぽう)二年(に)一月(いち)六日(ろくに)死去(しよこ)。七十四(しじゅうよっ)歳(さい)。俗名(よこな)は山本(やまもと)栄蔵(えいざう)。字(あざな)は曲(まがり)。号(あだな)は大愚(たいぐ)。

【格言(ごごん)など】うらを見(み)せおもてを見(み)せて散(ま)るもみぢ(辞世(しよせ))

【語釈(ごしゃく)】*疎雨(そいう)：まばらに降(ふ)る雨(あめ)。大粒(おほつぶ)の雨(あめ) *蕭蕭(しょうしょう)：ものさびしく風(かぜ)の吹(ふ)くさま。ものさびしく雨(あめ)の降(ふ)るさま。

*衾衣(のうい)：(世人(よじん)が捨(す)てて顧(か)みない布帛(ふおく)を縫(ぬい)い合(あ)わせて作(つく)った衣(い)の意(い)。僧(そう)の着(き)る法衣(ほつえ)。衾袈裟(のうげさ)のうげさ)。